

「つながりと循環を学ぶ、愛東エコツアー」 訪問先・講師のご紹介

「あいとうエコプラザ菜の花館」

(東近江市妹町 70 番地)

資源循環型地域づくりをめざす拠点施設として2005年にオープン。「菜の花プロジェクト」をはじめとする環境にやさしい取り組み実践・推進の場、環境学習の場としても役立てられています。

NPO法人愛のまちエコ倶楽部が指定管理者です。

愛のまちエコ倶楽部は、「菜の花プロジェクト」活動を通して、食やエネルギーの地産地消、持続可能な暮らしを提案しています。「菜の花プロジェクト」は、東近江市から全国に広がった取り組みです。地域で育てた菜たねは、美味しい菜たね油に。副産物の油かすは肥料に。そして廃食油は再処理して、せっけんやバイオディーゼル燃料に姿をかえます。



「あいとうマーガレットステーション」

(東近江市妹町 184-1)

地元の農産物を販売する「あいとう直売館」、地元産の農産物を素材にしたジェラートや焼菓子、ジャム、ジュースなどの製造販売所、地元の特産品、滋賀県産のお土産各種、ハーブ・香り商品などを販売するショップもあります。



「ファームキッチン野菜花」「あいとうふくしモール」

(東近江市小倉町 1975-3)

あいとうふくしモールは、『食』と『ケア』と『エネルギー』の拠点。障害や認知症など、どのような症状になっても安心して暮らせる拠点づくりに取り組むプロジェクトです。

モール内の野菜花は、安心安全な素材にこだわり地域のお母さんが心をこめて作る「福祉支援型農家レストラン」です。



村上 悟さん NPO 法人碧いびわ湖 代表理事

余呉町生まれ。幼少から余呉湖などでの野鳥観察に親しむ。滋賀県立大学に一期生として入学し、自然の保全と地域活性化の両立を研究。自然再生 NPO、大工の見習い、地域づくりの個人事業主などを経て、2009 年から現職。人、モノ、コト、それぞれの中にある価値や可能性を活かす「つながり」を生み出し、守り、育むことに取り組んでいる。使用済み油でせっけんを作って使う暮らしの普及も、その一つ。



五百井裕子さん NPO 法人碧いびわ湖

(社)京都微生物研究所で水道水の分析を約 5 年間担当。退職後も水問題への興味は薄れず、農薬ゼミ、合成洗剤勉強会、琵琶湖淀川調査団等々、多数の活動に参画する。その中で、環境問題の捉え方は立ち位置によって 180 度違うことを実感する。後に、化粧品の開発と薬事・品質管理業務に 18 年携わり、化粧品に含まれる界面活性剤・成分について考え続ける。7 年前より液体石けん”ゆう”の製造担当者。

【連絡先】しがローカル SDGs 研究会(SL2)事務局

〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号
明日都浜大津1階 大津市市民活動センターBOX32
TEL:077-527-8661 FAX:077-527-8662
Mail アドレス:sl2.biwako@gmail.com